

第9次富山県職業能力開発計画

(平成23年度～平成27年度)

実施状況

平成26年3月現在

1 高度・先端的なものづくり分野の人材育成

取組の基本方向

今後ますます激化する国際競争を勝ち抜くため、高度・先端的なものづくり分野の人材を育成するとともに、将来のものづくり産業を担う人材を育成します。

【基本的施策の柱】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 先端的なものづくり分野の人材育成 | 2 ものづくりの高度化のための人材育成 |
| 3 高度熟練技能の継承・熟練技能者の育成 | 4 将来のものづくり産業を担う人材の育成 |

基本的施策と主な事業の実施状況

1 先端的なものづくり分野の人材育成

○最先端設備を活用した研究開発プロジェクト(ものづくり産学官協働バトンゾーン形成研究会)の実施

研究会を設置し、研究課題に関連する最前線の情報を学ぶ技術セミナーの開催

	H23	H24	H25
参加者数	252人	418人	583人

○高度ナノテクに関する研修会の実施

ものづくり研究開発センターにおいて、県内企業者を対象に高度ナノテクに関する研修会を開催

	H24	H25
受講者数	13人	10人

○長期インターンシップの実施

ものづくり研究開発センターの研究とのマッチングが可能な内容について、大学生等の研究生の長期間受入を実施

	H23	H24	H25
参加者数	10人	11人	5人

○富山県ものづくり大賞の実施

県内に本社、主たる事業所、研究開発拠点またはそれに類する施設を置く製造業を営むものづくり企業を対象に、高度な技術開発により県内ものづくりの活性化に寄与した企業を顕彰



長期インターンシップ

	H23	H24	備考
大賞	(株)ゴールドウイン (汗・加齢臭 消臭下着MXP)	富山化学工業(株) (オゼックス細粒小児用15%)	H25から隔年実施 (H26に実施予定)
優秀賞	アイシン軽金属(株) (アルミ製ステアリングシャフト)	(株)スギノマシン (バイオマスナノファイバー-BiNFi-s(ビンフィス))	
特別賞	シーケー金属(株) (CKパーフェクトロック)	(株)ワコーテック (静電容量型6軸力覚センサ)	

2 ものづくりの高度化のための人材育成

○富山県立大学における若手エンジニアステップアップセミナーの実施

企業の若手技術者に対する高度な技術者教育を実施

	H23	H24	H25
受講者数	51人	47人	74人

○富山大学、富山高等専門学校等工学系高等教育機関における産学官共同研究の実施

富山大学、富山高等専門学校、富山県立大学、県工業技術センターによる産学官の共同研究等を実施

	H23	H24	H25
共同研究数	321件	336件	308件

○テクニカル・エンジニア育成研修の実施

設計部門(技術者)と製造部門(技能者)との橋渡し役を担うテクニカル・エンジニアを育成する研修会を開催

	H23	H24	H25
受講者数	38人 (2コース)	40人 (2コース)	24人 (2コース)

○グローバル人材育成講座の実施

ものづくり企業の海外ビジネスを支援するため、グローバル化に対応した在職者向け講座を開催

	H24	H25
受講者数	339人	56人
うちレディメイド	166人(12コース)	43人(5コース)
うちオーダーメイド	173人(9コース)	13人(1コース)

○オーダーメイド型在職者訓練の実施

個々の企業の要望に応じて、日程、カリキュラム等の調整を行うオーダーメイド型の職業訓練を実施

【実施状況は、P4・目標指標に記載】



若手エンジニアステップアップセミナー



テクニカル・エンジニア育成研修



グローバル人材育成講座

3 高度熟練技能の継承・熟練技能者の育成

○ものづくり技能人材育成研修の実施

ものづくり現場リーダー養成、CNC旋盤等の高度技能習得や小規模企業出前研修等、企業ニーズにきめ細かく対応する研修を実施

	H23	H24	H25
現場リーダー養成コース 受講者数	—	—	34人(2コース)
高度技能者育成コース(※1) 受講者数	44人(10コース)	35人(7コース)	39人(8コース)
小規模企業出前コース(※2) 受講者数	75人(8企業)	119人(8企業)	160人(23企業)

(※1) H23・H24は「とやま技能継承塾」として実施 (※2) H23・H24は「熟練技能者出前講座」として実施

○若年技能者人材育成支援等事業の実施(H25～)

県職業能力開発協会において、技能者の人材育成・技能尊重機運の醸成を図るため、高度な技能をもった「ものづくりマイスター」が中小企業等で若年技能者への実技指導及び技能士を活用した意識啓発事業等を実施

	H25
ものづくりマイスター出前講座 受講者数	75人(6企業・団体)

○認定職業訓練校における職業訓練の実施

事業主団体等が知事の承認を受けて、従業員に対し実施する職業訓練

	H23	H24	H25
認定校数	15校 (普通課程10、短期課程12)	15校 (普通課程9、短期課程12)	14校 (普通課程9、短期課程11)



ものづくり技能人材育成研修
(高度技能者育成コース)

4 将来のものづくり産業を担う人材の育成

○小学校における理科等の専科教員の配置

小学校3～6年対象の理科等専科教員を配置

	H23	H24	H25
配置校数	66校	66校	66校

○「とやま科学オリンピック」の実施

小・中・高校生を対象とした「とやま科学オリンピック」を開催

	H23	H24	H25
参加者数	945人	990人	1,039人
入賞者数	300人	312人	316人



とやま科学オリンピック

○高校生ものづくり技能出前研修の実施

工業高校生等を対象に、「とやまの名匠」等の熟練技能者を派遣し、直接技能指導を実施

	H23	H24	H25
コース数	10コース	16コース	18コース
受講者数	121人	273人	257人

※H24～対象校拡大(4→6校)



高校生ものづくり技能出前研修

目標指標

●若い研究者を育てる会(※)の共同研究に参加した企業の研究者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
研究者数	77人	112人	119人	129人	136人	150人

※県内の中堅企業14社で構成。毎年設定する研究テーマに対し、工業技術センター等で合同研究を推進している。

●能力開発セミナーの受講者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
受講者数	706人	1,553人	858人	1,162人	865人	1,800人
うちレディメイド	706人	458人	473人	428人	223人	300人
うちオーダーメイド	—	1,095人	385人	734人	642人	1,500人

●県立学校全日制工業科高校生のインターンシップ(※)体験率

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
体験者数	589人	989人	1,008人	1,033人	1,008人	975人
体験率	51.3%	96.5%	96.8%	100.0%	99.8%	現状維持

※各年高校3年生の体験状況。高校3年間での体験生徒数と3年生全体に占める体験者の割合を記載している。

2 産業構造の変化に柔軟に対応する人材育成

取組の基本方向

今後の成長分野や高付加価値の産業分野等への労働移動が円滑に行われるよう必要な支援に努めるとともに、介護・福祉、観光、農林水産など、新たな地域の課題を解決し、今後の高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材を育成します。

【基本的施策の柱】

- 1 円滑な労働移動のための人材育成
- 2 高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成

基本的施策と主な事業の実施状況

1 円滑な労働移動のための人材育成

○職業訓練アドバイザーの配置

技術専門学院において、求職者に対する職業訓練相談や求人開拓、情報提供を実施

	H23	H24	H25
配置人数	1人	3人	2人
相談件数	362件	644件	423件

○オーダーメイド型在職者訓練の実施

【再掲】 P2

2 高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成

○成長分野の職業訓練の実施(H25～)

技術専門学院の施設内訓練等において、成長分野に対応した訓練を実施

- ・自動車整備科において、ハイブリッド車整備技術を導入
- ・太陽光パネルや省エネ設備工事に対応した技能者を養成するため環境エネルギー設備科を新設
- ・観光分野における離職者向け訓練コースを設置(民間委託訓練)



ハイブリッド車整備技術

○成長分野人材育成講座の実施(H25～)

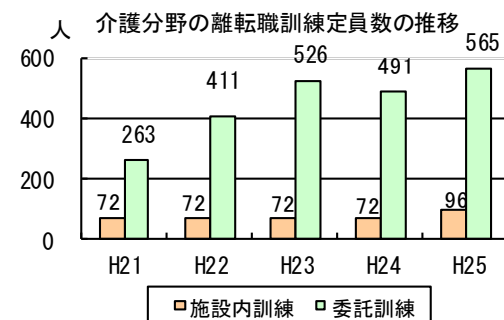
能力開発セミナーにおいて、ハイブリッド車整備や太陽光発電システム設計等、環境エネルギー分野に関する訓練コースを実施

	H25
受講者数	53人
うちレディメイド	36人(4コース)
うちオーダーメイド	17人(2コース)

○介護分野の職業訓練の実施

求人ニーズの高い介護分野の職業訓練を実施

	H23	H24	H25
施設内訓練 定員	72人	72人	96人
委託訓練 定員	526人	491人	565人



○主任ケアマネジャー医療介護連携研修の実施

介護サービスの充実を図るため、介護関係職員を対象とした在宅医療・介護連携のための実習を含めた研修会を開催

	H24	H25
受講者数	31人	19人



介護系職業訓練

○とやま観光未来創造塾の実施

おもてなし力の向上、観光ガイド、観光魅力アップ等の研修会を開催

	H23	H24	H25
修了者数	85人	78人	67人



とやま観光未来創造塾

○とやま農業未来塾の実施

農業体験や就業前研修により、次世代農業の人材を育成

	H23	H24	H25
緑の学園等 受講者数	18人	19人	21人
長期実践研修 受講者数	5人	5人	8人
中期体験研修 受講者数	10人	11人	14人

3 職業生涯を通じたキャリア形成支援の充実

取組の基本方向

県民一人ひとりが職業生涯を通じて労働に参加し、それぞれのライフステージに応じて、その能力を十分発揮していただけるような、きめ細かなキャリア形成支援を充実します。

【基本的施策の柱】

- 1 学校教育段階からのキャリア教育の充実
- 2 若年者の職業能力開発の促進
- 3 企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援
- 4 高齢者の職業能力開発や再就職支援
- 5 特別な支援を要する者の職業能力開発の推進と就職支援

基本的施策と主な事業の実施状況

1 学校教育段階からのキャリア教育の充実

○社会に学ぶ「14歳の挑戦」の実施

中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加

	H23	H24	H25
参加者数	9,742人	9,717人	9,819人
受入事業所数	3,258箇所	3,266箇所	3,296箇所



14歳の挑戦

○キャリア・コンサルタントの配置等の体制の強化

技術専門学院にキャリア形成支援室を設置し、キャリア・コンサルタント(1名)を配置

	H24	H25
就職支援講座開催回数	30回	24回
キャリア・コンサルティング実施回数	712回	216回

⇒早期内定者が増加
(就職率100%)

⇒H25.12末までに
就職内定率100%を達成



高校生インターンシップ

○高校生インターンシップの実施

社会や職業について現実的な理解を深め、社会参画を考える機会を目的に就業体験を実施

【実施状況は、P12・目標指標に記載】

○大学生等のインターンシップの実施

学生の将来に関連した企業において、短期間の就業体験を実施

【実施状況は、P12・目標指標に記載】

2 若年者の職業能力開発の促進

○ヤングジョブとやま(富山県若者就業支援センター)における支援

フリーター等の若年者の就業を支援するため、総合的な就職支援を実施

	H23	H24	H25
来所者数	20,735人	23,401人	24,516人
カウンセリング実施人数	1,483人	1,203人	1,141人
就職者数	1,461人	1,259人	1,323人

○富山県若者サポートステーションにおける支援

ニート等の若者の自立を促進するため、カウンセリングなどの就職支援を実施

【実施状況は、P12・目標指標に記載】

・ハローワークにおける就職支援

若年者(35歳未満)の就職を支援するため、職業相談・紹介、求人開拓等の就職支援を実施

	H23	H24	H25
若年者新規求職申込者数	22,396人	20,485人	18,713人
若年者紹介件数	34,591件	31,909件	27,305件
若年者就職者数	8,462人	8,021人	7,517人

○企業実習付訓練(デュアルシステムコース)の実施

座学と企業における実習を一体的に組み合わせた職業訓練の実施

【実施状況は、P12・目標指標に記載】

○若者の職場定着のための研修会(若者職場定着チャレンジ事業)の実施(H25～)

「職場定着推進モデル企業」を指定し、転職して間もない若者の職場定着を促進するため、各階層別研修会を実施

	H25
受講者数	315人(20企業)

○若手技能者キャリア・アップ研修の実施（H24まで若手技能者“やる気塾”として実施）

若手技能者の定着・確保や意欲の高揚などを図るための研修会を開催

	H23	H24	H25
受講者数	32人 (2コース)	39人 (2コース)	26人 (2コース)



若手技能者キャリア・アップ研修

3 企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援

○職業能力開発推進者の選任

従業員の職業能力開発計画の作成や実施の推進者を選任

【実施状況は、P20・目標指標に記載】

○富山県中小企業大学校の開講

経営者や従業員等の資質向上を図る講座を実施

	H23	H24	H25
受講者数	278人	209人	165人



富山県中小企業大学校

○元気とやま！仕事と子育て両立支援企業表彰の実施

仕事と子育てを両立できる職場環境作りに積極的に取り組み、その成果を挙げた企業を表彰

	H23	H24	H25
受賞企業数	8企業	11企業	10企業

○元気とやま！仕事と子育て両立支援セミナーの開催

安心して子どもを育てるための職場環境づくりや、男性を含めた働き方の見直しの必要性等について、事業主や従業員、一般県民の理解を深めるためのセミナーを開催

	H24	H25
参加者数	155人	163人

○オーダーメイド型在職者訓練、ものづくり技能人材育成研修の実施

【再掲】 P2、P3

4 高齢者の職業能力開発や再就職支援

○とやまシニア専門人材バンクの運営

専門的な知識・技術等を有する概ね55歳以上の高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援

	H24	H25
登録者数	263人	501人
登録企業数	83企業	326企業
就職者数	77人	304人

※H24.10開設



とやまシニア専門人材バンク

○シルバー人材センター事業の実施

高齢者の生きがいや地域社会の発展のため、登録会員への仕事の紹介や技能講習を実施

	H23	H24	H25 (H26.2末現在)
会員数	8,943人	8,594人	8,294人
契約件数	101,242件	102,537件	93,021件

5 特別な支援を要する者の職業能力開発の推進と就職支援

○母子家庭の母等の職業訓練の実施

母子家庭の母等を対象とした職業訓練を実施

	H23	H24
受講者数	11人	14人

※H25～

母子家庭の母の対象コースを一般求職者コースに移行
(託児サービス枠20名を確保)

○母子家庭等就業・自立支援センターにおける支援

母子家庭の母等に対して、就業相談、講習会などの就業支援サービスを実施

	H23	H24	H25
延べ相談件数	660件	892件	1,021件
就職者数	68人	95人	97人

○障害者職業訓練コーディネーター等の配置

障害者に対して、職業訓練のコーディネート、訓練中の指導、就職支援及び関係機関との連携を実施

	H23	H24	H25
障害者職業訓練コーディネーター 配置人数	1人	1人	1人
学卒障害者能力開発アドバイザー 配置人数	1人	1人	—
障害者職業訓練支援員 配置人数	—	—	1人
障害者職業能力開発企画推進員 配置人数	—	—	1人

○障害者就業・生活支援センターにおける支援

障害者の就業を支援するため、就業面、生活面でのサポートを実施

	H23	H24	H25
就業者数	173人	171人	153人

○アビリンピック参加の促進

障害者の職業能力の向上や雇用の促進等のため、全国障害者技能競技大会(アビリンピック)の参加を促進

	H23	H24	H25
出場選手数	(世界大会開催年のため不開催)	7人 (うち上位入賞1人)	7人 (上位入賞なし)



アビリンピック激励会

目標指標

●高校生のインターンシップの推進

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
体験者数	3,599人	4,576人	4,425人	5,182人	5,001人	5,020人
体験率	47.0%	66.6%	65.5%	71.3%	71.8%	70.0%

●大学生等のインターンシップの参加者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
参加者数	714人	917人	908人	871人	860人	1,100人

●富山県若者サポートステーションでの通所型ジョブトレーニング参加者の就職率

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
就職率	21.4%	19.2%	18.2%	24.5%	27.5%	25.0%

●企業実習付訓練(デュアルシステムコース)の受講者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
受講者数	23人	57人	79人	94人	82人	100人
うち施設内訓練	5人	13人	10人	7人	7人	20人
うち委託訓練	18人	44人	69人	87人	75人	80人

●障害者の職業訓練の受講者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
受講者数	20人	50人	49人	40人	30人	75人

4 雇用のセーフティネットとしての職業能力開発(離職者訓練)の推進

取組の基本方向

雇用失業情勢の変化に対し、離職者のための多様で質の高い職業訓練の機会を機動的に確保・提供するとともに、きめ細かな就職支援を行います。

【基本的施策の柱】

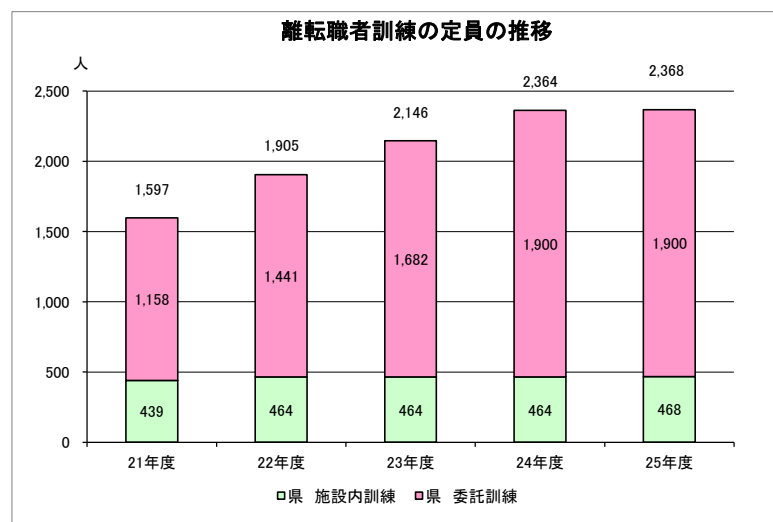
- 1 雇用情勢の変化に迅速・柔軟に対応する職業訓練の実施
- 2 求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援

基本的施策と主な事業の実施状況

1 雇用情勢の変化に迅速・柔軟に対応する職業訓練の実施

○離転職者訓練の実施

雇用情勢に応じて技術専門学院で実施している離転職者訓練の定員を拡充



施設内訓練 (平成25年度)

	科名	定員
本校	金属加工科	24
	造園管理科	48
	配管設備科	24
	木材加工科	36
	O A 事務科	72
	環境エネルギー設備科	24
新川	住宅リフォーム科	48
	ビジネス実務科	60
	介護サービス科	48
砺波	パソコン事務科	24
	簿記・会計科	12
	介護サービス科	48
計		468

民間委託訓練 (平成25年度)

	科名	定員
一般離職者	情報系コース	80
	事務系コース	310
	介護系コース	565
	医療事務コース	200
	観光ビジネス人材育成コース	40
	企業立地人材育成支援コース	100
	グローバル人材コース	40
	資格取得コース	80
	その他コース	315
	企業実習付訓練(デュアルシステム)コース	100
障害者対象コース	70	
計		1,900

・求職者支援制度

雇用保険を受給できない求職者が、職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を目指すための制度
 求職者支援訓練を実施するとともに、訓練受講期間中、一定要件を満たす場合に、月額10万円を上限とする給付金を支給
【求職者支援訓練の計画定員(開講コース定員)】 H24:1,800人(962人) H25:1,200人(780人)

2 求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援

○離職者訓練の拡充(H25～)

- 求人・求職ニーズに応じた新たな離職者訓練コースの設定
 - ・北陸新幹線の開業により雇用拡大が期待される観光ニーズに対応した訓練コース
観光ビジネス人材育成コース 【計画定員】H25:40人
 - ・立地企業の即戦力となる人材を育成するため、立地企業のニーズに対応した訓練コース
企業立地人材育成支援コース 【計画定員】H25:100人

○巡回就職支援指導員等の配置

技術専門学院において、就職情報の提供や訓練委託先の開拓等を実施

	H23	H24	H25
配置人数	14人	15人	18人

○キャリア・コンサルタントの配置

【再掲】P7



キャリアコンサルティング

目標指標

●離転職者の職業訓練生の就職率

	H18	H22	H23	H24	H25 (H25.11修了分まで)	H27 (目標)
施設内訓練	74.3%	71.5%	74.3%	79.5%	80.4%	80%以上
委託訓練	76.8%	68.1%	67.6%	71.1%	75.7%	70%以上

5 技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成

取組の基本方向

技能や技能者に対する社会的評価の向上や技能者が意欲的に技能向上に取り組む環境を整備するとともに、次代を担う若者が進んで技能労働者を目指す機運を醸成します。

【基本的施策の柱】

- 1 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備
- 2 技能者が意欲的に技能向上に取り組むための環境整備
- 3 若者のものづくりマインドの醸成

基本的施策と主な事業の実施状況

1 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備

○「とやまの名匠」の認定

熟練技能を有し、技能の継承や後継者育成などの事業に指導者として、活動する技能者を「とやまの名匠」として認定

(平成23年度から認定者枠を年4人から年10人に拡大)

H25までの被認定者:21職種・61人

○異業種交流会の開催(若年技能者人材育成支援等事業)(H25～)

県職業能力開発協会において、本県ものづくり産業の人材育成に携わる関係者が一堂に会する「異業種交流会」を開催し、技能向上・技能尊重機運の醸成を促進

	H25
参加者数	137人



「とやまの名匠」認定

2 技能者が意欲的に技能向上に取り組むための環境整備

○技能検定の実施

技能検定(特級、1級、2級、3級、単一等級)を実施

	H23	H24	H25
受検者数	2,949人	2,996人	2,830人

※合格率は、P17・目標指標に記載

○全国技能競技大会の参加

	H23	H24	H25
若年者ものづくり 競技大会	1位(機械製図(CAD)) 3位(電子回路組立て) 【2職種3名出場】	敢闘賞(電子回路組立て、 電気工事) 【4職種7名出場】	2位(機械製図(CAD)) 【4職種7名出場】
技能五輪 全国大会	銀賞(建築大工) 【6職種7名出場】	敢闘賞(日本料理) 【6職種10名出場】	上位入賞なし 【9職種12名出場】
技能グランプリ	(隔年開催のため不開催)	上位入賞なし 【1職種1名出場】	(隔年開催のため不開催)
全国障害者 技能競技大会 (アビリンピック)	(世界大会開催年のため 不開催)	3位(喫茶サービス) 【7職種7名出場】	上位入賞なし 【7職種7名出場】



技能五輪

○全国大会の上位入賞者への知事奨励賞の実施

技能五輪をはじめとする技能競技の全国大会において優秀な成績を収めた個人に対し顕彰

	H23	H24	H25
受賞者数	3人 (若年者ものづくり競技大会1位・3位、 技能五輪全国大会2位)	1人 (アビリンピック3位)	1人 (若年者ものづくり競技大会2位)

3 若者のものづくりマインドの醸成

○ものづくり体験事業の実施

技術専門学院において、小学生等を対象としたものづくりの魅力や楽しさを体験する事業を実施

	H23	H24	H25
参加者数	205人	206人	261人

○高校生ものづくり技能出前研修の実施

【再掲】P4

○若年者ものづくり競技大会の参加

【再掲】P16



夏休みものづくり体験

目標指標

●技能検定の合格者数及び合格率(基礎級を除く)

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
合格者数	1,738人	1,443人	1,430人	1,482人	1,449人	1,500人
合格率	42.9%	44.1%	48.5%	49.5%	51.2%	50%以上

●技能五輪の参加者及び上位入賞者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
参加者数	5人	5人	7人	10人	12人	10人
上位入賞者	3位(1人)	2位(1人)	2位(1人)	—	—	優勝

6 職業能力開発の推進体制の整備

取組の基本方向

国、県をはじめ、能力開発に携わる関係機関との一層の役割分担と連携の促進を図り、能率的・効果的な取組に努めるとともに、多様化、高度化する人材育成ニーズを踏まえ、県の行う職業能力開発を充実します。

【基本的施策の柱】

- 1 県が行う職業能力開発の向上・改善
- 2 国、県、市町村、民間及び産業界の連携の促進
- 3 企業の職業能力開発力向上への支援

基本的施策と主な事業の実施状況

1 県が行う職業能力開発の向上・改善

○企業ニーズや成長分野に対応した訓練機器の導入(H25～)

技術専門学院に企業ニーズや成長分野に対応した訓練機器を導入

- ・CNC旋盤の導入
- ・ハイブリッド車、太陽光パネル等の導入

○職業訓練推進会議(外部委員会)の開催

技術専門学院において、労働局、経済団体、企業等で構成する外部委員会「職業訓練推進協議会」を年2回開催

【H25開催状況】

第1回 平成25年7月23日

- ・H24職業訓練実施状況、H25職業訓練計画等

第2回 平成26年3月4日

- ・H25職業訓練実施状況、H26職業訓練計画等



CNC旋盤



ハイブリッド車



外部委員会

○職業訓練指導員の資質向上

職業能力開発総合大学校等において、技術専門学院の指導員が専門分野の指導技能の向上、新分野の指導技法の習得研修を受講

	H23	H24	H25
受講者数	22人	25人	18人

○職業訓練指導員のキャリア・コンサルティング技法の習得

訓練生のキャリア形成や就職指導の向上のためのコンサルティング技法を習得(登録キャリア・コンサルタント資格取得)

	H23	H24	H25
受講者数	12人	10人	—

※技術専門学院の就職支援担当職員は、ほぼ資格取得済み

2 国、県、市町村、民間及び産業界の連携の促進

○関連機関相互の連携会議の開催

効果的な訓練の実施に向けての連携会議を開催

富山県地域訓練協議会、職業訓練担当者連絡会議、雇用対策連絡調整会議、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会等連絡会議において、訓練等の情報共有や意見交換を実施

・県内3市が運営する職業訓練センターにおける教育訓練の実施

職業訓練センターにおける多様な教育訓練講座の実施
(職業実務講座、資格取得講座、パソコン実用講座など)

3 企業の職業能力開発力向上への支援

○職業能力開発推進者講習会の実施

県職業能力開発協会における職業能力開発推進者の資質向上を図る講習会の実施

	H23	H24	H25
受講者数	91人	121人	30人

○職業能力開発優良企業表彰の実施

従業員に対し、能力開発教育訓練を実施し、顕著な訓練効果を挙げている企業を表彰

	H23	H24	H25
受賞企業数	4企業	3企業	3企業

○認定校の企業表彰の実施

認定職業訓練校に携わっている者で運営に多大の尽力をしている者を表彰

	H23	H24	H25
受賞者数	2人	3人	2人



職業能力開発優良企業表彰

目標指標

●職業能力開発推進者の選任数及び選任率

	H18	H22	H23	H24	H25	H27 (目標)
選任数	1,531人	1,736人	1,761人	1,795人	1,823人	2,000人
うち100人以上の事務所	318人	356人	361人	366人	368人	400人
選任率※	53.4%	58.0%	57.6%	57.7%	54.4%	65.0%

※選任率は、100人以上の事務所における選任割合である。